

放課後デイサービス 所属職員の事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和8年 3月 1日

アンケート期間:令和7年12月1日～令和7年12月30日

事業所名 ほっとルーム

職員数数 12名 回収数 12名 割合 100%

事業所:

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点・課題や改善すべき点 |
|---------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 7 | 3 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> 活動によって1階と2階を使い分けている。(ルーム槻木) クールダウン出来る部屋が確保できる。(ルーム槻木) 配置基準においては適切であるが、特性を踏まえて環境を整える必要がある。 歩行に困難のあるお子さんと多動のお子さんがいる中で、もっと広いスペースがあると良い。 多動のお子さんがある為、もう少し広さがあれば |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 1 | 10 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> お子さんの利用人数が少ない日にお休みを頂く工夫をしている。 配置基準は適切であるが、特性を踏まえた体制が必要。 上記理由に加え痲癩などの特性を持ったお子さんへの個別対応に職員がもっと多ければさらに安心できる。 お子さんの人数ではなく安全性を考えると、どちらとも言いにくい |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | 9 | | <ul style="list-style-type: none"> スロープ幅が狭く屋根も幅が狭いため、雨が降ると利用者さんや来客者が濡れてしまう。車いすも動かしにくい。(ルーム柴田) 2階へ上がる階段があるが1Fはバリアフリー(ルーム槻木) 活動場所が2階部分となっている為、昇降機があるとはいえ、職員の配置等に不安が残る。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 12 | | | <ul style="list-style-type: none"> 朝の打ち合わせや全体ミーティング等を通して業務改善の話し合いを行っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 11 | 1 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 10 | 2 | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 2 | 6 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 外部評価はおこなっていない。 |

| | | | | | | |
|----------|----|---|----|---|--|--|
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 12 | | | ・環境体制をカバーするために、日々ケース検討や研修に努めている。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 12 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、適宜職員間で情報交換し、支援に繋げているか | 12 | | | ・朝の打ち合わせでお子さんの様子や課題についての情報共有をおこないより良い支援が出来るように努めている。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 12 | | | ・5領域を考えながらお子さんの出来る事を考え、プログラムを作成している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 9 | 3 | | ・月ごとに活動予定(計画)を立てて工夫している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 12 | | | ・月ごとに活動予定(計画)を立てて工夫している。 ・休日だから出来る事やお子さんの利用状況を見ながら活動をおこない支援している。 |
| 適切な支援の提供 | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 12 | | | ・月間の活動プログラムを職員全員で話し合い取り組んでいる。 ・お子さんの得意、苦手な物事を組み合わせ楽しく取り組んでもらえるように工夫している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 12 | | | ・毎朝必ずミーティングを行っている。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 11 | 1 | | ・翌朝のミーティングに振り返りと課題解決に向けての話し合いを行っている。 ・小さなことでも全て話し合っ振り返りをおこない、より良い支援になるよう工夫している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 12 | | | ・利用されたお子さんの様子や支援の仕方等を毎日パソコンで入力し管理している。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 12 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 12 | | | |
| 関係機関や保護 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者と連絡を密にして、利用者が適切な利用ができるようにしているか | 11 | 1 | | ・相談員による |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|----|---|---|---|
| 者との連携 | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切 | 11 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・常に送迎時先生とコミュニケーションを取り、情報の共有化を行っている。 ・送迎時などに、情報共有を行っている。 ・学校による。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 5 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な児童は利用していない。 ・受け入れていない |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 5 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・主に児達管がおこなっている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 10 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから職業体験をおこない就労の職員と情報共有おこなってる。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 6 | 6 | | <ul style="list-style-type: none"> ・該当者がいない（ルーム船岡） ・他の支援センターをもっと見学したいと思ってる。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 7 | 3 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流がない |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 5 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・仙南管内市町障害児支援期間等共同研修会など、情報交換や事例研究等に参加している。（現在は児発管のみ） |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 11 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の活用 ・送迎時に情報の共有 ・子供の様子については申し送りしているが、課題についての共通理解が出来ているかは不 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してのペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 6 | 6 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会 |
| 護者への説明責任 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 10 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容などについては随時おこなっているが、運営規定等の説明はあまりおこなっていない。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 11 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者さんからの相談も職員間で共有し、色々な観点から意見を出し合い、上限や支援をおこなっている。 |
| 保護者への説明 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 7 | 2 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・父母の会がない |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 12 | | | |

| | | | | | | |
|------------|----|---|----|---|---|--|
| 責任等 | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 12 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告のみの発信となっており、活動予定表等をもっと情報を発信する機会を増やすべきだと思う。 ・活動予定と活動報告をhっこうしている。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 12 | | | |
| 保護者への説明責任等 | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 11 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・支持等、更にきめ細かく工夫していきたい。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 11 | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・自社主催の夏祭りに地域の学校を招いて交流をおこない、参加を促している。 ・地域のイベントに行き、事業所を知ってもらえるような活動をおこなっている。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 7 | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への周知が欠けているため、今後、保護者様へお便り等で発信する必要があると思う。 ・マニュアルに基づいた訓練をおこなっていると共に事業所に指示している。 ・災害が起きた時の対応を周知出来ていない点がある。今後行っていく予定である。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 12 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動に取り入れている。 ・職員研修をおこなっている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 12 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修をおこなっている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に | 12 | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 9 | 1 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・与薬指示書 ・対象児童なし（ルーム船岡・ルーム槻木） |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 10 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを書く事の意識が薄くなってしまっているため、しっかりヒヤリハットを作成し共有すべきだと思う。 ・事例集の作成には至ってないが、共有を行い事例考察にてヒヤリハットの報告書を作成している。 |

| |
|--|
| |
|--|

